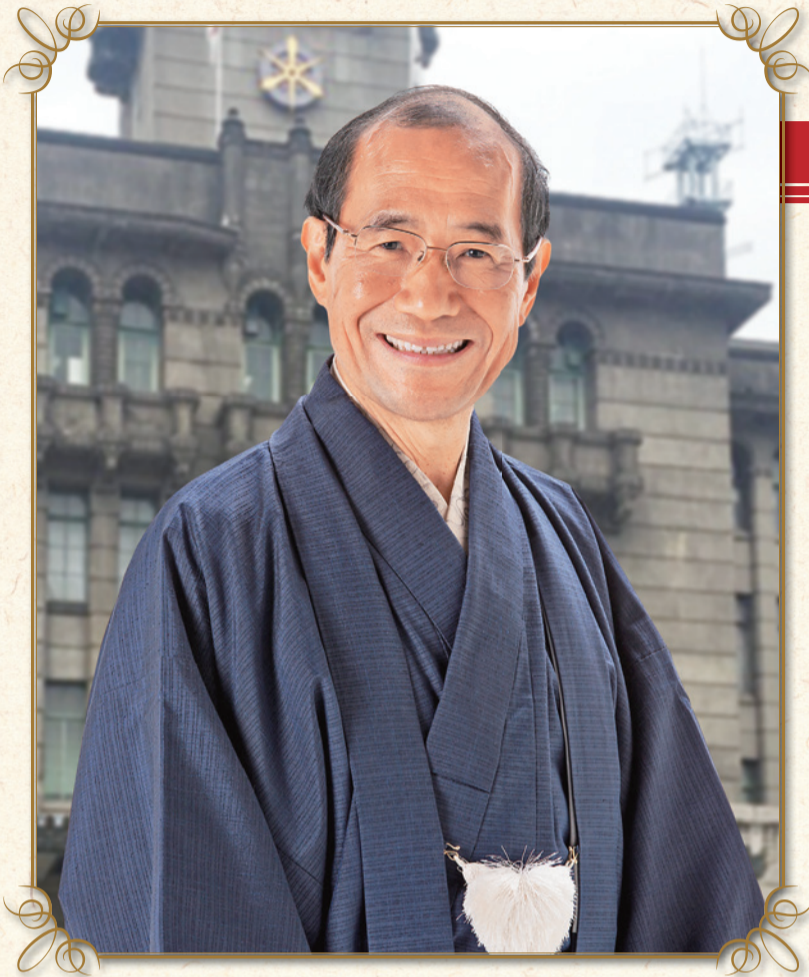


下京のひびき
市民しんぶん下京区版

2・15

推計人口	男	女
81,242人	37,454人	43,788人
世帯数	46,024世帯	
(平成27年9月1日現在)*		
*国勢調査の結果が判明次第、更新します。		



かどかわだいさく

門川大作市長が3選

「安心・豊かさ」を実感できる 京都を創ります

2月7日に実施した市長選挙の結果、現職の門川大作市長が当選。引き続き、市政のかじ取りを担うことになりました。

門川市長は、8年前の就任以来、厳しい財政状況の中で行財政改革を断行。また、府市協調で二重行政を打破し、行政の効率化を進めました。そうして捻出した財源により、福祉や子育て支援の充実を図り、中小企業の振興とともに、景観政策など未来への先行投資も積極的に行いました。

3期目に向けては、経済対策や人口減少など、なお山積する課題を克服し、京都の未来を切り拓く決意を表明。市民の皆さんと共に、誰もが安心や豊かさを実感できるまちづくりを進めるための、4つの柱と133の公約を掲げています。

4つの柱と主な取り組み

1 京都経済のさらなる活性化と安定した雇用の創出

- 「中小企業振興会議(仮称)」を設置。条例化など、効果的な振興策の推進。
- 中小企業支援の強化に向けた、府や経済団体との連携による「京都経済センター(仮称)」の創設。
- 食の安全・安心の確保と京都の食文化の魅力発信に向けた、中央卸売市場の再整備。

2 市民のいのちと暮らしを守り、子育て環境を充実

- 保育所・学童クラブ待機児童ゼロの継続と、子育ての相談にきめ細かく対応する「子育て支援コンシェルジュ」の創設。
- 命を守る橋りょうの耐震補強の推進。
- 特別養護老人ホームなど、介護基盤の整備(1400人分以上)。

3 「こころの創生」「世界の文化首都・京都」を実現

- 市美術館の再整備。
- 京町家の保全・活用を推進する条例の制定。
- 幹線道路のボトルネックの解消(渋滞の原因となる箇所)の改善。

4 府市協調による「さらなる二重行政の打破」と、財政構造の抜本改革

- まちづくり拠点としての区役所の機能強化。証明書のコンビニ交付など、市民サービスの向上。
- 8年前と比べて年間335億円削減した職員人件費を、31年度までの4年間でさらに100億円以上削減。
- 地下鉄の経常収支の黒字転換と、予定していた運賃値上げの回避。